

# 特別会計・企業会計決算

## 水道事業会計(消費税を含む。)

収益的収入 (水道料金収入など)	11億4,946万3千円	資本的収入 (建設工事などに充てる資金)	6,867万5千円
収益的支出 (維持管理費用)	10億641万5千円	資本的支出 (建設工事などの費用)	4億2,556万9千円



## 特別会計

特別会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	51億8,328万5千円	47億2,344万4千円	4億5,984万1千円
後期高齢者医療	6億4,802万9千円	6億4,538万円	264万9千円
介護保険	34億6,155万2千円	33億1,864万5千円	1億4,290万7千円
農業集落排水事業	9,034万1千円	8,467万円	567万1千円
公共下水道事業	12億1,089万7千円	11億4,981万7千円	6,108万円
蓮田都市計画事業野牛・高岩土地区画整理事業	585万9千円	401万4千円	184万5千円
蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業	3億47万5千円	2億4,768万6千円	5,278万9千円

## 令和元年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率

白岡市の財政は、健全化判断比率の各項目及び資金不足比率を算定したところ、健全な状態です。

### ○健全化判断比率

(%)

項目	説明	算定結果	白岡市の財政規模に基づく基準値	
			早期健全化比率	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計等の実質赤字が標準財政規模に占める割合	黒字のため該当なし	13.34	20.00
連結実質赤字比率	全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	黒字のため該当なし	18.34	30.00
実質公債費比率	一般会計等が負担する公債費が標準財政規模に占める割合	7.3	25.0	35.0
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合	-	350.0	-

### ○資金不足比率

(%)

項目	説明	算定結果	経営健全化基準	白岡市の比率
資金不足比率	公営企業会計の資金不足額が当該会計の事業規模に占める割合	各会計資金不足が生じておらず該当なし	20.00	水道事業会計、公共下水道事業会計、農業集落排水事業会計、野牛・高岩土地区画整理事業会計、白岡駅東部中央土地区画整理事業会計いずれも資金不足比率該当なし

※健全化判断比率とは…全国の地方公共団体の財政状況を統一的な基準で比較するための4つの指標

※標準財政規模とは…地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模

※実質赤字とは…形式収支(歳入決算-歳出決算)-翌年度繰越財源=実質収支、この実質収支が赤字の状態

### 監査委員の意見(要約)

「決算書」「実質収支に関する調書」「財産に関する調書」に関し、市長から送付された決算、附属書類などについて、歳入歳出の関係諸帳簿と証拠書類を照らし合わせて審査した結果、関係書類はいずれも法令の規定に準拠して作成されており、計数も正確であり、その内容は妥当なものと同められた。

白岡市監査委員 おにくぼ 鬼久保 かつおみ 勝臣  
ふじい 藤井 えいいちろう 栄一郎